

保育教諭自己評価チェックリスト

評価日 2024年6月

常勤職員16名

評価基準	A:かなりできている	B:ほぼできている	C:あまりできていない	D:ほとんどできていない	A	B	C	D
総則	入園している子どもの最善の利益を考慮して教育・保育に当たっていますか	8	8	0	0			
	「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」に基づき、教育・保育目標を定め教育・保育を行っていますか	5	11	0	0			
	子ども一人ひとりの人格を尊重し、自らの人間性や専門性の向上に努め、豊かな感性と愛情を持って教育・保育に当たっていますか	10	6	0	0			
	評価・反省・課題： 一人ひとりの人格を尊重し、最善の保育を考えるよう心掛けてきた。							
子どもの発達	子どもの発達は豊かな心情・意欲・態度を身に付け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	11	5	0	0			
	『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を理解し、子どもの発達の連続性に配慮して教育・保育をしていますか	5	11	0	0			
	評価・反省・課題： 理解することを心掛けてきたが、育ってほしい姿をより理解し、深めていきたい。							
教育・保育の内容	教育・保育の内容は目標を具体化したねらいと、具体化した内容から構成されていることを理解していますか	6	10	0	0			
	『養護』と『教育』が一体となって展開されていることに留意していますか	6	8	2	0			
	評価・反省・課題： 乳児保育に於いても教育的な側面がある事に留意して、バランスの取れた保育を心掛けていきたい。							
養護に関するねらいと内容	朝の健康観察を丁寧に行ったり、一人ひとりの平常の健康状態を的確に把握していますか	14	2	0	0			
	子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全安心な保育環境に心がけていますか	10	6	0	0			
	保育教諭等の温かい受容的な雰囲気や関わりが子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して教育・保育をしていますか	10	6	0	0			
	「早くしなさい」などせかす言葉を不必要に使わないで、一人ひとりの発達過程に合わせた対応を心がけていますか	6	9	1	0			
	「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか	5	9	2	0			
	子どもを誘導するとき、不必要に子どもの手首をつかんで移動させないで、声掛けをし、手をつないで誘導するようにしていますか	7	9	0	0			
	子どもが活動しやすいように室内を清潔に保ち、その都度、室内の温度や湿度の調整、換気チェックをしていますか	9	7	0	0			
	評価・反省・課題： 時間に追われると急かすような言葉を使ってしまふことがあり、心に余裕を持って、ゆとりのある保育を目指していきたい。							
教育に関するねらいと内容	園庭や散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	15	1	0	0			
	保育教諭が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか	8	8	0	0			
	食事の前や排せつ後の手洗い等、清潔の習慣が身につくよう援助していますか	10	6	0	0			
	子どもが見通しをもって意欲的に行動できるようにするとともに、快適に生活するための約束事を分かりやすく伝える工夫をしていますか	9	7	0	0			
	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃からしていますか	8	8	0	0			
	つまずきや葛藤、けんかなどを子どもの発達に欠かせないものとしてとらえ、対処していますか	7	9	0	0			
	困っている友だちのことを心配するなど思いやりを持てるよう援助していますか	9	7	0	0			
	保育教諭は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、すべての言動が子どもにとってモデルになっていることを常に意識していますか	6	10	0	0			
	子ども同士が力を合わせて取り組む姿や協力して遊びを発展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高める関りをしていますか	5	11	0	0			

評価基準	A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A	B	C	D
教育に関するねらいと内容	子ども同士が思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気付けるよう援助をしていますか	6	10	0	0
	身近な自然に触れ、どうしてという疑問に対して美しさや不思議さに気付けるよう配慮し「なぜ？」という疑問に対して一緒に考えたり調べたりしていますか	6	10	0	0
	毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの違いや時刻などに関心が持てるような環境構成に配慮していますか	3	12	1	0
	信頼できる相手に伝えたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿をよく観察し、その場に応じた言葉かけをしていますか	7	9	0	0
	あなたは子どもが分からないことを訊ねたり、楽しい経験を話すなど安心して話せる雰囲気を作っていますか	9	7	0	0
	「ありがとう」「ごめんなさい」など生活に必要な言葉をいつも使えるように教育・保育していますか	13	3	0	0
	歌ったり踊ったりして音や動きの楽しさや、様々な色・形・手触りに気付き、心地よさを感じる機会を作っていますか	8	8	0	0
	糊・ハサミなどいろいろな道具の使い方を一人ひとり丁寧に教えたり見守ったりしていますか	5	11	0	0
	一人ひとりの育ちやその日の様子など、職員間で連携を取り、職員全体で見守る体制ができていますか	8	8	0	0
	あなたの教育・保育が、小学校以降の学習や生活の基盤に繋がることに配慮し、就学に向けて円滑な接続ができるよう小学校との連携を図っていますか	5	9	2	0
	評価・反省・課題： 子どもの自発性や発想を大切に、主体的に活動できるような適切な環境構成をさらに工夫していきたい。				
保育の計画及び評価	園の教育・保育理念、教育・保育目標、教育及び保育の内容に関する全体的な計画などを理解していますか	6	10	0	0
	指導計画のねらいや内容を保護者に分かるように説明することができますか	0	11	4	1
	指導計画は必ず『教育及び保育の内容に関する全体的な計画』に基づいて作成していますか	5	11	0	0
	行事は、その教育・保育上の意義を十分検討したうえで、指導計画に組み入れていますか	5	11	0	0
	指導計画（年間・月・週）が実際の子どもの姿・心情・意欲・態度に合っているか自己の教育・保育を振り返り、反省評価及び改善点を見直していますか	6	10	0	0
	あなたの指導計画の反省評価及び改善点は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか	7	9	0	0
	その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる他の職員と共有することができますか	9	7	0	0
	評価・反省・課題： 月案・週案を作成し、評価反省し改善点を次月につなげるよう心掛けた。ねらいや内容を保護者に分かりやすくプレゼンテーションする力を身に付けていきたい。				
健康と安全	教育・保育中の事故防止のために、子どもの心身の状態などを踏まえ、施設内外の安全点検や全職員での安全対策の体制を図っていますか	6	10	0	0
	子どもが危険な場所や危険な遊びが分かり、安全に気をつけて行動するよう指導していますか	6	10	0	0
	火災や地震などの災害の発生に備え、緊急時対応の具体的内容及び手順や役割を把握していますか	7	8	0	0
	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるよう雰囲気づくりや配膳の手伝いなど食事に興味を持てる工夫をしていますか	11	5	0	0
	子どもが自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心掛けていますか	7	9	0	0
	食物アレルギーの子どもに対し、家庭と連携しながら除去食などの配慮を行い、誤食の予防対策としてマニュアルに沿った対応をしていますか	12	4	0	0
	食育の計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか	5	6	4	1
	評価・反省・課題： 子どもの危険な遊び方などに対して個別対応はしてきたが、さらに全体共有する機会を頻回に持ち、子どもに対しても、全職員共通で安全対策の再確認をしていきたい。				
保護者に対する支援	送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか	11	5	0	0
	一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか	10	5	1	0
	家庭と信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方をしていますか	5	11	0	0

評価基準	A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A	B	C	D
保護者に対する支援	あなたは保護者が子育ての悩みや心配事などを、安心して話せる存在になるよう心掛けていますか	8	8	0	0
	あなたの教育・保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受けとめようと努力していますか	8	8	0	0
	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで園全体で受け止めようとしていますか	12	4	0	0
	評価・反省・課題： ケガなどの報告はノートに記載せず、口頭で報告したり、悩みごとなどは時間を取って面談したりすることで信頼関係が築けるようにしている。				
職員の連携 資質向上	職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか	3	10	3	0
	園の内外における研修・研究活動及び自己研鑽により専門性を高める努力をしていますか	6	10	0	0
	職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか	6	10	0	0
	自分の教育・保育を振り返り、課題や問題点を見つけるとともに、その中で生じた疑問や悩みを上司や同僚に説明することができますか	4	10	2	0
	一人ひとりの子どもの活動や姿をしっかりと記録にとどめることができますか	5	11	0	0
	評価・反省・課題： 職員会議を全体だけでなく、少人数に分け、より話しやすくすることで、子どものケースや職員個々の困りごとを共有し、助け合える環境を作っていきたい。				
保育教諭の 責務	毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するよう心掛けていますか	9	7	0	0
	子どもとよく遊び一緒に楽しんでいますか	9	7	0	0
	子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、教育・保育に取り入れていますか	4	11	1	0
	子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助や環境構成を心がけていますか	3	13	0	0
	子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜園長や副園長・主幹保育教諭に報告連絡相談をしていますか	13	3	0	0
	子どもの名前はニックネームではなく、〇〇さん〇〇ちゃんなど丁寧な呼び方をしていますか	8	7	1	0
	子どもの個人情報を適切に扱うとともに、園内で知り得た事柄や情報に対して守秘義務を遵守していますか	13	3	0	0
	あなたは創意と工夫を惜しまず、喜びや意欲を持って教育・保育をしていますか	7	9	0	0
	子どもの発達や成長に関する記録や帳簿類は適切に記載し、保管されていますか	9	7	0	0
	評価・反省・課題： 定期的に保育教諭の責務や守秘義務について研修を行っているので理解できている。ニックネームで呼んでしまうこともあるが、研修を行うことで自分の保育を振り返り完全にできるよう努めている。				
振り返り	教育・保育計画に基づき、理解して教育・保育に努めているが、改めて具体的な事柄について自己評価をすると、自分の足りなかったこと、見直すところが見えてきてよい機会であった。特に養護に関する内容の「せかす言葉を不必要に使わない」「制止する言葉を不必要に使わない」については職員体制の事もあるが、時間に追われてしまうことで使ってしまったことがあるという職員がほとんどであった。園児を慌てさせず余裕を持って行動できるよう、時間配分や余裕のある保育内容の見直しなど、無理のない教育・保育を心掛けていきたい。				